

宮崎市の三大名城inイオンモール宮崎



皆さんは身近なところにお城があるのを知っていますか？ それは必ず「山城」！ 宮崎市を代表する3つの山城(宮崎城・佐土原城・穆佐城)を中心に、クイズや映像、体験ブース、考古資料の展示などを通して、山城の知られざる魅力をたっぷり紹介します。当日は甲冑を着て記念撮影もできますので、この機会に戦国武将の気分を味わってみませんか。

- 日時/6月18日(土)・19日(日) 11時~17時
- 場所/イオンモール宮崎 2階
- 料金/無料

[問] 文化財課 ☎21-1836、FAX21-1840

金婚祝賀会を開催します

地域	宮崎市域 (旧宮崎市域と清武町域との 合同開催)	佐土原町域
開催日	10月18日(火)	11月9日(水)
会場	宮崎観光ホテル	佐土原総合文化センター
会費	1人:2,000円	1人:1,000円
申込先	市コールセンター (☎25-2111) または地区の民生委員・ 児童委員、老人クラブ会長	佐土原総合支所 市民福祉課 (☎73-1113) または各地区の自治会長
申込締切	6月30日(木)	8月12日(金)

地域	田野町域	高岡町域
開催日	10月下旬	11月中旬
会場	長日川	未定
会費	1人:1,000円	1人:1,000円
申込先	田野総合支所 市民福祉課 (☎86-1113)	高岡総合支所 市民福祉課 (☎82-1112)
申込締切	9月30日(金)	8月31日(水)

□対象/昭和41年中に結婚したご夫婦、昭和40年中に結婚し、昨年申請しなかったご夫婦

[問]市コールセンター(☎25-2111、FAX38-4894)
または長寿支援課(☎21-1773、FAX31-6337)

「青島ビーチパーク」好評営業中!



今年も、海を近くに感じながら、遊び楽しむことができるビーチパークが、青島にオープン! 期間中、ビーチハウス5店舗では飲食物や雑貨などを販売するほか、ビーチヨガやライブなどのイベントを開催。昼は家族で楽しみ、夜は仲間が集える、明るく開放的な空間を満喫してください!



ホームページ



フェイスブック

- 期間/9月30日(金)まで
- ※水曜日(7月、8月、祝日は除く)
- ※店舗によって営業時間は異なります
- 場所/青島ビーチセンター南側(青島海水浴場)

[問] 渚の交番青島プロジェクト実行委員会 ☎65-1055、FAX65-1056

佐土原の魅力発信バスツアー参加者募集



城の駅「佐土原いろは館」のほか、鶴松館や巨田神社など佐土原の歴史的史跡を巡り、佐土原夏祭りにおけるダンジリ喧嘩本戦(西佐土原駅跡地)を見学するバスツアーを実施します。貴重な歴史文化が伝承されている佐土原の魅力を体感してみませんか?

- 日時/7月24日(日) 13時~19時30分
- 定員/50人(多いときは抽選)
- 料金/500円
- 申し込み/往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、6月24日(金・必着)までに城の駅「佐土原いろは館」(〒880-0301、佐土原町上田島1387-1、佐土原の魅力発信バスツアー係)まで

[問] 佐土原総合支所地域総務課 ☎73-1411、FAX73-4279

3月に行われた第13回九州中学生選抜軟式野球大会で、宮崎県チームとして7年ぶり3度目の優勝を果たした住吉中学校野球部。大会では2試合連続で延長戦にもつれ込んだり、序盤で相手に先制されたりするなど、苦しい状況乗り越えて栄冠をつかみました。「相手チームの守備がよく、緊張する場面もありましたが、全員

で声を掛け、笑顔で励まし合いました」と日高さん。小学2年のときに遊び感覚で始めた野球ですが、今では投打の要としてチームを引っ張るまでに成長。「野球は自分一人でするものではないので、仲間を信じて、打たれることを恐れずに投げています」と話します。練習中はキャプテンとして、時には厳しく声を掛ける一方、試合前のバスの

次は目標は夏に行われる、第33回全日本少年軟式野球大会と全国中学校体育大会での全国制覇。「必ず優勝するために、1試合1試合集中して取り組みます。野球部が活躍することで、学校全体を盛り上げたいです」と日高さん。大きな夢に向けて、練習にもいつそう熱が入ります。



Catch your Dream.

夢をつかめ!

狙うは全国制覇!
チームを勝利へ導くピッチングを

Dream 26 日高太勢さん

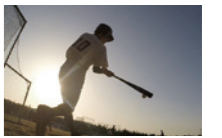
住吉中学校

動画はココから



Profile

中学3年生。エースで4番も務めるチームの要。キャプテンとして、持ち前のリーダーシップで総勢31人の野球部を牽引する。



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りリーダー」を推奨しています。

市長コラム



早期復興に向けて

4月14日から相次いで発生した熊本地震は、熊本県や大分県に大きな被害を及ぼしています。この地震により、多くの尊い命が失われ、現在も多くの方が避難所生活を余儀なくされています。亡くなられた方々とそのご遺族の皆さまに心から哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

本市は、地震発生直後から緊急消防援助隊や保健師、避難所運営などに当たる職員を継続して派遣し、多くの人的支援を行いました。また、非常食や飲料水などの物的支援、さらには、一時的な居住の場として市営住宅を提供するな

ど、被災者の受け入れにも取り組んでいます。

過去、本市で口蹄疫や鳥インフルエンザが発生した際は、全国から多くの温かいご支援・ご協力をいただき大変勇気づけられました。被災者の皆さまが、一日でも早く日常生活に戻られ、また、被災地の早期復興が図られますよう、本市としても、できる限りの支援を行ってまいりたいと考えています。

本市では、南海トラフ巨大地震を想定して市民の命を守る事業をさらに充実させてまいります。市民の皆さまも、普段から災害に対する心構えをお願いします。



熊本県益城町で活動する緊急消防援助隊



※コラムタイトルは戸敷市長の「宮崎市版・365日誕生花」であるネコノヒゲ(8月31日)にちなんだものです。